

高知県商工団体連合会 NO.791(49-26)

〒780-8035 高知市河ノ瀬町33

TEL088-832-4838 FAX088-832-3126

Eメール kosityoren@citrus.ocn.ne.jp

ホームページ http://kosityoren.web.fc2.com/

このニュースはホームページでもご覧になれます

# 高商連ニュース

## マイナンバーカードの交付率は1割未満 全国で最も交付率が低いのは高知県!

マイナンバー(共通番号)

制度は2016年1月から運用が始まり、1年10カ月が経過しました。国は2016年度中にマイナンバーカード3000万枚の交付を目標に掲げていましたが、交付数は目標の半分にも満たない状況が明らかになりました(8月31日現在)。

総務省によると交付数は1230万枚で、人口に対する交付率は全国平均で9・6%と1割にも達していない状況です。市区町村別では交付率が42・2%(新潟県岩船郡粟島裏村)と高い自治体がある一方で、わずか3・5%(沖

縄県島尻郡久米島町)という自治体もあります。

都道府県別でカード交付率が最も高いのは宮崎県の12・5%、最も低いのは高知県の6・0%(表)。年齢別(5歳刻み)の交付率では20代、30代が1桁に対し、2桁超は55歳以上から89歳まで。交付率が最も高いのは70から74歳までの18・3%、次いで75から79歳までの17・9%になっています。

政府はマイナンバーカードの普及を高めるため「マイナンバーカード取得促進キャンペーン」を実施することを都道府県や指定都市に通知しま

### ●マイナンバーカードの交付率(%)

北海道	8.4	石川県	7.6	岡山県	8.2
青森県	9.0	福井県	6.4	広島県	9.9
岩手県	8.9	山梨県	8.0	山口県	9.7
宮城県	9.3	長野県	7.9	徳島県	7.7
秋田県	7.6	岐阜県	7.4	香川県	8.0
山形県	6.7	静岡県	9.0	愛媛県	7.8
福島県	8.6	愛知県	8.8	高知県	6.0
茨城県	9.5	三重県	7.5	福岡県	8.4
栃木県	8.5	滋賀県	8.9	佐賀県	7.6
群馬県	8.1	京都府	9.5	長崎県	9.2
埼玉県	9.7	大阪府	10.6	熊本県	8.8
千葉県	11.0	兵庫県	11.1	大分県	8.5
東京都	11.9	奈良県	11.2	宮崎県	12.5
神奈川県	12.1	和歌山県	7.5	鹿児島県	8.9
新潟県	7.1	鳥取県	8.1	沖縄県	7.0
富山県	8.8	島根県	8.6		

した(9月末)。遅くとも11月に開始して期間を決め、カード取得の推進を求めています。今後、カード取得を迫る動きが予想されます。問題を明らかにしてマイナンバー制度の廃止を求める署名などの運動をさらに強めることが必要です。

## 大門みきしさんの 学習会に90人 台風の中、消費税を吹き飛ばす!

アベノミクスに代わる  
経済再建・くらしを守る道



高商連、消費税廃止各界連絡会、消費税をなくす会の共催で、10月29日に大門みきし参議院議員を迎えての消費税・経済問題の学習会を開催。折悪く台風となりましたが、大門さんは気合を入れて前日から来高し備えてくださり、当日気をもみましたが、90名ものみなさんに参加いただき大成功しました。

アベノミクスとは「大企業中心の成長戦略で格差を広げただけ」と解明。また「人々が豊かになってこそ企業も発展する」とずばり。「日本経済の再建、くらしを守る道は、国民の可処分所得を増やしくらしを守ること、それに大きく逆行する消費税10%増税は凍結ではなく中止すること」と強調しました。あわせて「応能負担の原則で財源を作り社会保障を充実させよう」と呼びかけました。

ユーモアもまじえ、笑いの中にもしっかりと胸に刻み込まれるお話で、はじめて聞く人も「楽しかった」「よくわかった」「また聞きたい」と大好評でした。大門講演DVD(約70分)があります。総選挙結果もふくめて学べる内容です。必要な方は県連事務局まで(無料)。

(11/11消費税をなくす高知県の会ニュースより)

「マイナンバーは記載・提供はしないといけないの?」という相談がよくあります。記載・提供は義務ではありません。国税庁は、税務書類などに個人番号が記載されていなくても受け取るとし、不利益もないとしています。日本文学基金も、年金受給者の扶養親族申告書および個人番号申出書に個人番号の記載がなくても「書類を受理し、不利益もない」と回答しています。

## 全国業者婦人決起集会に参加して

安芸民商・近藤恵子婦人部部長

10月26日高知県下から10名が東京へと向かいました。国会議員要請と国会議員懇談と駅頭宣伝の三つに別れ、私は駅頭宣伝に参加しました。駅頭宣伝行動は新橋の駅の近くで行いました。署名活動のためトイレで来年の母親大会用のTシャツに着替えました。集合地点に着いた団体順に宣伝カーの上に上がり、声を大にして沢山のの人に訴えていました。

私たちは4人組で交差点近くは他の婦人部の人達もいて、少し離れた公園の入り口付近で署名への呼びかけをしました。なかなか声を掛けても足を止めてくれる人もいず、寂しい思いをしている時に署名をいただくと1筆の重みや嬉しさを今回はしみじみと感じました。

署名終了後、公園内に行くのと物産展が行われていて、美味しい匂いがしていました。高知からも四万十町と四万十市が出店していて、しょうがの入った炭酸飲料水や、鳥の串など食べて日比谷野外音楽堂に歩いて向かいました。

集会では、開会宣言や挨拶などから始まり、2017たたかひの交流では、倉敷民商弾圧事件の禰屋さんも決起集会の翌日27日に控訴審が広島高裁岡山市部で行われるとの事でした。禰屋さんの訴えに会場からは多くの拍手が送られていました。

その後、所得税法第56条廃止等決議・意見書採択された市町村のプラカードを持って、黒潮町は中村の秋森さん、馬路村は安芸の近藤が壇上に上がりました。壇上から見る会場は、来賓の方の挨拶にもありましたが本当にお花畑のようにみなさんの思考を凝らした装いで、会場からたくさん元気をもらいました。

(11/6「会報あき」より)